

# 令和 7 年度 環境総合研究所調査・研究等業務計画について

---

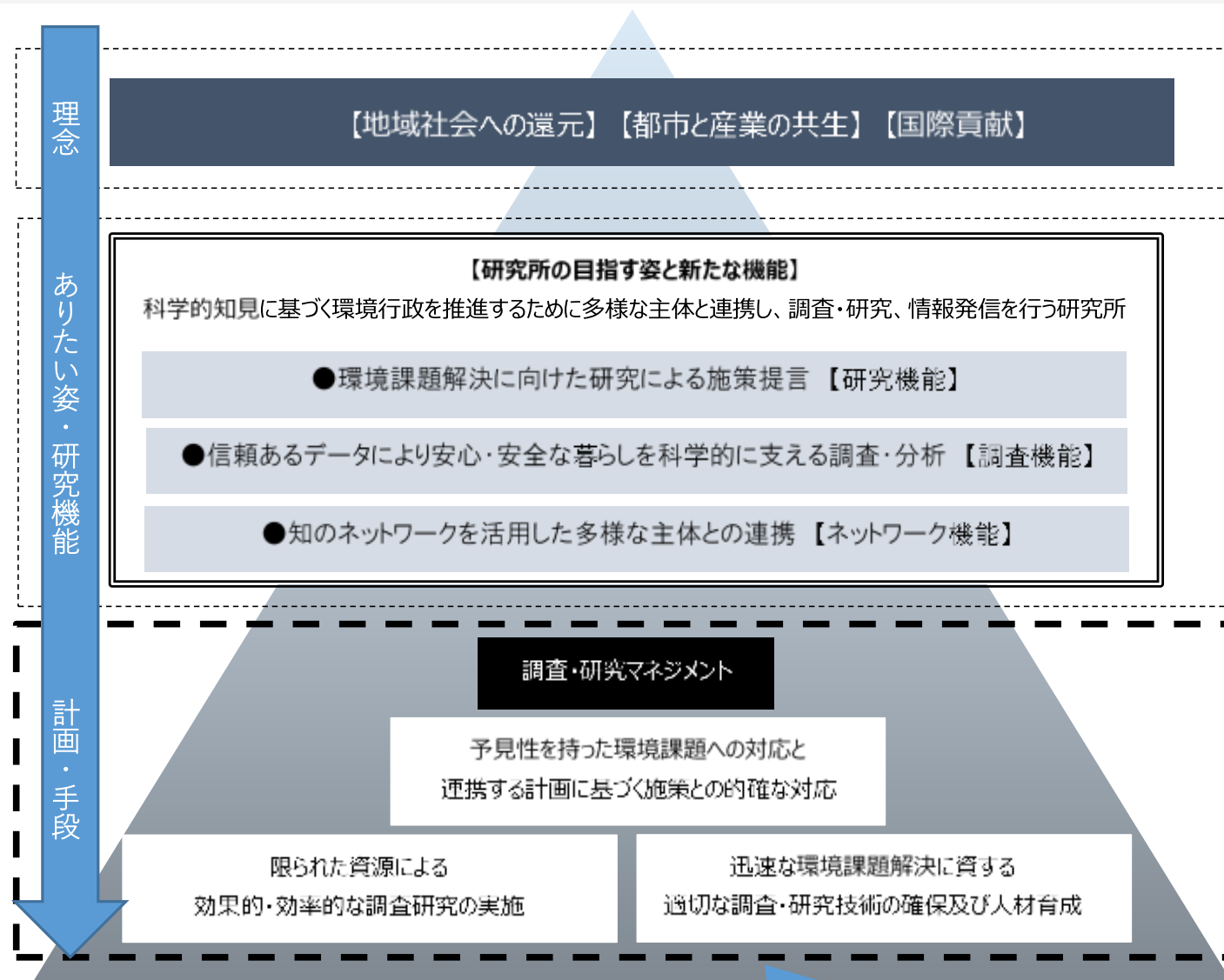
# 計画の位置づけ

## ■目的

所の理念・機能の実現に向け、調査・研究業務の目的や成果、施策への還元について明確に示し、限られた資源を最大限有効に活用するために、中長期的な視点で予算の確保や調整も踏まえた調査・研究計画を立案する。

## ■計画期間

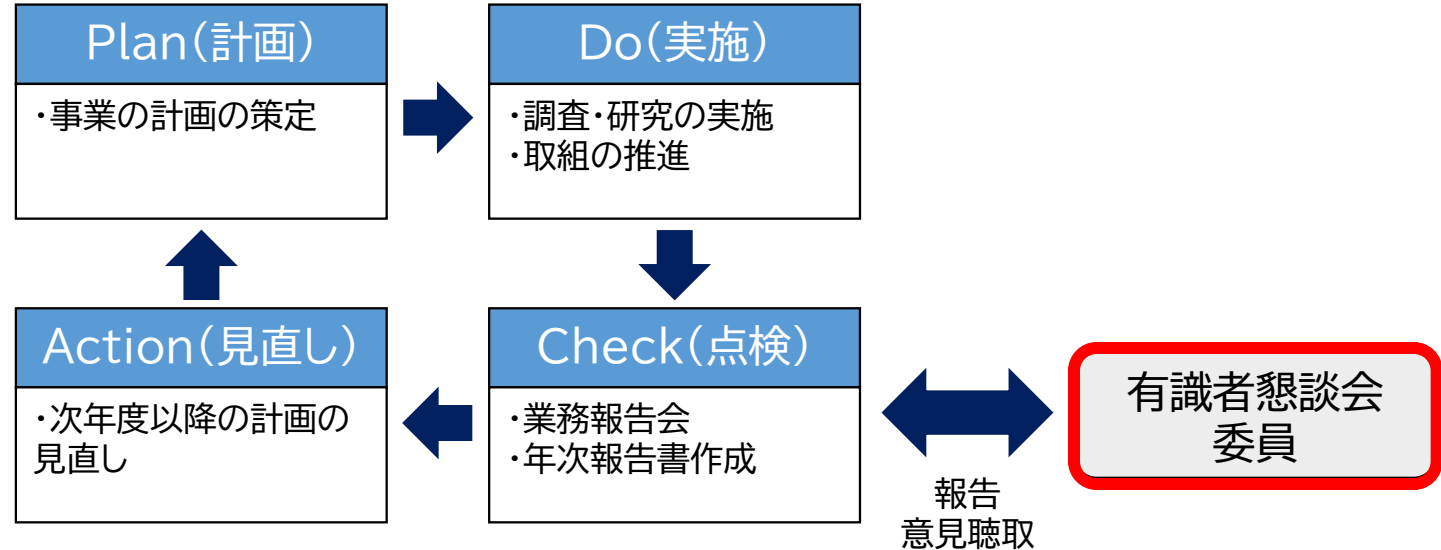
環境基本計画等の長期ビジョンのもと、向こう3か年の具体的な調査・研究事業を示し、調査・研究の進行状況に合わせて毎年度見直しを行う。



# 進行管理

■研究所の理念及び3つの機能の実現に向けて事業の進行管理を目的に研究所職員間で意見交換し、業務改善につなげる環境総合研究所業務報告会、有識者による専門的な意見や助言をいただくための有識者懇談会、庁内担当課長級の川崎市環境総合研究所事業等連絡調整会議を開催する。

■当該年度の調査・研究個票に対して年次報告書を作成し、業務の成果を振り返るとともに次年度以降の展開を検討し、次年度計画に反映する。



## ■重点課題研究

※赤字は本日の懇談会でご説明する事業

重点－1	市内における熱中症発生状況及び暑熱環境等に関する調査研究
重点－2	光化学オキシダントに関する調査研究
重点－3	大気中に排出のある未規制PRTR届出物質の環境リスク評価に関する調査研究
重点－4	東京湾におけるCODに関する調査研究

## ■課題研究

課題－1	市内の気候変動等に伴う気象状況に関する調査研究
課題－2	環境中未規制化学物質の現状把握に関する調査研究
課題－3	未規制化学物質の分析法開発及び環境調査に関する研究
課題－4	スクリーニング分析を活用した生活由来物質等の環境リスク解明に関する研究
課題－5	親水施設の水生生物及び水環境に関する調査研究
課題－6	海域の水生生物及び水環境に関する調査研究

## ■依頼調査

依頼－1	アスベストに関する調査
依頼－2	粉じん・悪臭苦情等に関する調査
依頼－3	酸性雨の監視及び調査・研究
依頼－4	工場・事業場排水の水質に関する調査
依頼－5	事業所地下水汚染等に関する調査
依頼－6	異常水質事故・苦情等に関する調査
依頼－7	河川の魚類及び底生生物に関する調査
依頼－8	海域底生生物及び底質に関する調査
依頼－9	放射能安全推進に関する調査

## ■法定調査

法定－1	環境大気常時監視
法定－2	PM2.5に関する調査
法定－3	有害大気汚染物質に関する調査
法定－4	公共用水域・地下水に関する調査
法定－5	ダイオキシン類に関する調査

- 気候変動情報センター及びその関連業務
- 産学公民連携事業
- 国際連携推進事業
- マイクロプラスチックに関する取組
- 情報発信事業